

出題 螢雪ゼミナール

岐阜駅前校・築樋拓真



国語を様々な側面からみて、日本語の面白さや深さを知ってもらえればと思います。

問題【国語】

次の文は二通りの読みとり方が受け取り方のできるあいまいな表現です。どன்றところがあいまいなのか説明してみましよう。

美術の先生は山田君に自分の姿を描くように言った。

豆知識 雑学コラム

正確に伝えるには？

今回のテーマは作文です。作文をするときには、相手に自分の伝えたいことが正確に伝わるのが大切です。そうするためのポイントの一つに「自分の伝えたいことと違う受け取られ方をされる文を書かない」ということがあります。では、どうすれば、相手に自分の意図を正確に伝えられるのでしょうか、考えてみましょう。

今回の文では、「自分の姿」が、「先

生の姿」なのか、「山田君の姿」なのかわからないことが問題ですね。今回の「自分」のように日本語の中には複数の解釈を許してしまう単語があります。こうした場合、一番簡単に文を直す方法としては、単語を置き換える方法があります。「自分の姿」を「自画像」に替えるとうででしょうか。

うに言った。

美術の先生は山田君に自画像を描くよ

「自画像」は「作者自身の姿を描いた絵」ということなので「山田君の姿」だとはつきりしますね。こうした単語の置き換えは日々、語彙を増やすことでスムーズにできるようになります。積極的に新聞を読んで語彙を増やしていきましょう。

もう一つの方法として、記号を付けてわかりやすくするという方法もあります。今回の文も「」を付けて、先生の言ったセリフをそのまま書くことで意味がはっきりします。

美術の先生は山田君に「私の姿を描きなさい。」と言った。

上の文では先生が「私の姿」と言っているのに、「自分の姿」が「先生の姿」だとはつきりしますね。このような工夫をして、自分の伝えたいことがはっきりしている文を書いてみましょう。

さて、こうした他人に自分の考えていたことと違う受け取られ方をする文は、見直しても見つけにくいものです。書いた本人が読むと、こういう意味で読み取ってくれるはずだと思いついて見直してしまうからです。こうしたことから、出版社の場合、校閲という文章の表現をチェックする専門の仕事があります。皆さんも作文を書いたら、自分で見直すだけでなく、他の人に校閲してもらってみましょう。きっとより良い文になるための意見がもらえますよ。

【解答】

「自分の姿」が「先生の姿」か「山田君の姿」か「自画像」か「私の姿」か「先生の自